



## 取材を通して思うこと ...

先日、知り合いの方からご紹介頂き、NHKの記者の方と施設の安全面などの話をしました。その後、申込みがあり取材を受けることになりました。

昨年吹田市で起こった行方不明の事故を受けての取材でした。NHK側も大阪府を対象に調査すると、行方不明の事故は昨年度までの5年間で71件あったそうです。これは府や市町村に事業所が事故報告として指定権者の府や市に届けている数であり、氷山の一角と思われます。そして、行方不明になる状況として、

●職員が気づかないうちに外へ送迎車を乗り降りする際 ●公園で遊んでいた時

の3つです。その3つについて、取材を受けました。Angeの出入り口の施設や職員の配置状況、送迎時の様子、公園に連れて行く時の職員の体制などを話しました。また、今年1月に保護者の皆さんにご協力いただいた、情報提供に関する同意書の作成の経緯もお話しました。

取材を受けた時に感じたことは、施設などの環境的なハード面ではなく人的なソフト面が問題なのではないか？という事です。そこで、記者の方に10人に2人の職員体制という国の制度について、取り上げてもらいました。加配加算という名目で、10人に対しもう1人配置するとそれだけの報酬はもらえる仕組みになっています。しかし、10人に3人としても、1人がトイレ介助に入れば9人を2人。学校へのお迎えがあれば添乗員として事業所を離れるので9人を1人。子どもの状態にもよりますが、じっと座って何かに取り組んでいる子どもばかりではありません。では、軽度の発達障害の子どもだったら10人に2人で大丈夫かと言われても、それはNOです。軽度の発達障害の子の中には気持ちをコントロールする事が難しい子もいます。時には手が出たり、暴言を言ったり。その時に支援者が子ども達の気持ちに寄り添い、一緒にどうすれば良いか考えることが大切です。支援者が少なければそんな場面ですっかり療育をする事はできません。ある程度指示の理解や会話が出来るからという判断で子どもに対する支援者の人数を決めるのもどうかと思います。障害程度や種別に関係なく、大人が【子ども達の発達段階を考慮し、起こった事柄の前後の行動から気持ちを読み取り、代弁し、納得行くまで付き合う】そんな療育をする事で安全も確保できるのではないかと思います。

郡 奈美

## 研修実施予定！申し込み受付中！

11/21(火)

今、子どもにつけておきたい力

講師：西堂 直子

(大阪青山大学 子ども教育学部准教授)

↓ 申込み QR ↓



※外部の方など、どなたでも受講可能です。詳しくはお問い合わせください。オンデマンド配信あり！

■場所：Ange（服部）又は zoom ■時間：AM10:00～ ■参加費：Ange 保護者500円・外部の方1000円/1名  
■申し込み・お問合せ：Tel(06) 6151-2996 Mail: kitamura@tokuyo.me 担当：中川

## 研修会「自閉スペクトラムの心の理解と支援」



別府 哲先生（岐阜大学教育学部教授）の優しい語調で始まった9月14日（木）の研修「自閉スペクトラムの心の理解と支援 Part1」では、ASDは共感の障害ではなく、共感されにくい障害であるというところから、子どもの心を理解するには、そのユニークな言葉や楽しみ、世界に入れてもらうことが大切だと、先生の事例をもとにわかりやすくお話いただきました。同時に職員間においても子どもの世界を共有し、一緒に楽しむ大切さも説かれ、子どもに会うのがいつも以上に楽しみになる研修会でした。

その1か月後の10月17日（火）ではPart2として、Angeの実践報告を郡が行い、グループセッションの後、後半に別府先生に助言をいただきました。Angeの療育では子どもに寄り添い、その子の世界に付き合うことを最も大切にしていますが、どこまで付き合っているのか、その付き合い方によってよりこだわりの助長させていないか、悩むこともありました。それを別府先生に「徹底して寄り添う」と称賛していただいた上、スタッフ間でのコミュニケーションが充分とれているとお褒めの言葉をいただき、これまでAngeがやってきたことを認められ自信となりました。研修会後に別府先生からメッセージが届き、「心地よい余韻に浸っている」「もっとこの実践を多くの人に聞いて欲しい」と、会自体の感想もいただきました。これからも子どもの豊かな感情や笑顔を求め、一緒に寄り添っていききたいと思える研修会でした。保護者限定でオンデマンド配信をしております。



今年もお菓子をもらいにAnge周辺の3カ所へ出かけました。開店前の忙しい時間なのにとびきりの笑顔で出迎えてくださった「うしお」さん。このお店の煮干しラーメン、超美味しいです。訪問介護事業所の「あいる」さんは大きなお菓子が入った袋を手渡してくださいました。あまりの大きさに子ども達、目がまんまる。持参したエコバックに入りきらなかったため、数人の子どもたちは長い道のり、落とさないようしっかり持って歩いていました。シフォンケーキの「ドルチェ」さんは定休日なのにAnge用に特別な美味しいカップケーキを用意してお店を開けてくださいました。子ども達は『トリック・オア・トリート』の合言葉でもらったお菓子を大事そうにバッグの中に入れていました。ご協力くださった皆様、お忙しい中、本当にありがとうございました。